



第 13回土砂災害に関するシンポジウム

開催日時：2026 年 8 月 27 日（木），8:30～18:00
8 月 28 日（金），8:30～17:40

1. **主催**：（公社）土木学会西部支部
2. **後援**：（公社）砂防学会，（公社）地盤工学会，（公社）日本地すべり学会，（一社）日本応用地質学会，日本自然災害学会，（公社）日本技術士会九州本部，（一社）建設コンサルタンツ協会九州支部
3. **会場**：宮日会館（宮崎市高千穂通 1-1-33）
4. **CPD（土木学会）**：27 日 8.0 単位，28 日 7.7 単位（シンポジウム当日，終了直後に受講認定書を発行いたします。）
5. **シンポジウム参加費**：6,000 円（会員，非会員を問いません。期限内送金の方には領収書を会場にて配布します。）
6. **意見交換会**：8 月 27 日（木）シンポジウム終了後に開催致します。
意見交換会会場：ホテルメリージュ（宮崎市橘通東 3-1-11 TEL:0985-26-6666）
意見交換会費：6,500 円（シンポジウム会場にて当日徴収します。その際，領収証は発行します。）
7. **参加申込方法**：Web サイト（https://www.jsce.or.jp/branch/seibu/10_symposium/2607.html）から，シンポジウムおよび意見交換会について，**事前申込み**をそれぞれお願いします。
シンポジウム参加費は 8 月 18 日（火）までに銀行振込で送金ください。
銀行振込：西日本シティ銀行 赤坂門支店 普通 1 1 3 4 4 6 3（公社）土木学会西部支部
8. **参加申込締切日**：2026 年 8 月 18 日（火）
9. **問い合わせ先**：シンポジウム参加費など（公社）土木学会西部支部
TEL（092）717-6031，FAX（092）717-6032，E-mail：jsce-w@io.ocn.ne.jp
発表方法・意見交換会など 宮崎大学 末次大輔
E-mail：suetsugu@cc.miyazaki-u.ac.jp
10. **論文集**：電子データを本ページに掲載していますのでダウンロードのうえご参加ください。
11. **プログラム**：

8月27日（木）

8:30～8:40 開会挨拶

「第 13 回土砂災害に関するシンポジウム」実行委員長 末次大輔

【セッション1 土砂災害調査研究】

座長 九州建設コンサルタント（株） 大神昭徳

1. 8:40～9:00 2024 年能登半島地震による人工改変地の標高変化と旧地形

関西大学文学部 黒木貴一

日本文理大学工学部 池見洋明

2. 9:00～9:20 山地小河川における線路冠水の気候変動影響

東日本旅客鉄道株式会社 防災研究所 植村昌一

3. 9:20～9:40 令和 2 年 7 月豪雨の人吉城跡公園にて発生したしらす斜面崩壊復旧事例

株式会社水野建設コンサルタント 今藺淳司・橋本 潤

鹿児島大学学術研究院理工学域工学系 酒匂一成・田上聖人

4. 9:40～10:00 旧河道を利用して洪水流をかわす高田積み—大野川下流域の石積み文化—

日本文理大学工学部 池見洋明

NEXCO エンジニアリング四国（株） 二宮大河

西日本土木（株） 合澤昂汰

大分県立大分工業高等学校 松岡慎一郎・松本浩次

5. 10:00～10:20 浸水と土砂災害が混在した地域の災害予測—2025年8月熊本豪雨を事例として—

元九州大学大学院工学研究院 橋本晴行

6. 10:20～10:40 阿武隈群と関門層群に由来するスレーキング特性を有する道路掘削残土の内部侵食挙動

山口大学大学院創成科学研究科 梶原一輝・鈴木素之・軸屋雄太

[10:40～10:50 休 憩]

【セッション2 斜面崩壊—要因分析—】

座長 (株)久栄総合コンサルタント 中濃耕司

7. 10:50～11:10 不飽和シラスのせん断強度パラメータの不確実性を考慮した斜面崩壊確率のサクシオン依存性および簡易算出法に関する検討

鹿児島大学大学院理工学研究科 岩崎明里

鹿児島大学学術研究院理工学域工学系 酒匂一成・田上聖人

8. 11:10～11:30 降雨に伴う斜面崩壊形状の把握に関する実験的研究

徳山工業高等専門学校 土木建築工学科 荒木功平

株式会社シーエム・エンジニアリング 原田悠名

復建調査設計株式会社河川砂防部 大村拓志

徳山工業高等専門学校機械電気工学科 坪郷浩一

9. 11:30～11:50 降下軽石堆積土の含水比が繰返し一面せん断特性におよぼす影響

九州工業大学大学院工学府 平野愛歩

九州工業大学工学部建設社会工学科 藤本連成

九州工業大学大学院工学研究院 川尻峻三

10. 11:50～12:10 短時間大雨時に発生した崩壊の発生場における地形・森林の関係

(国研) 森林研究・整備機構森林総合研究所 黒川 潮

石川県立大学生物資源環境学部 大丸裕武

[12:10～13:10 昼 食]

【招待講演】

座長 東北大学 里見知昭

11. 13:10～13:30 国内の土砂災害リスクの統合的評価の試み

宮崎大学農学部 篠原慶規

【セッション3 斜面崩壊－安定解析，予測－】

12. 13:30～13:50 データ構成に着目した特異値分解に基づく3次元斜面の崩壊モード分析
九州大学大学院 落合陶子
九州大学大学院工学研究院 笠間清伸・李 洋
13. 13:50～14:10 干渉 SAR 時系列解析による準上下変位速度と AHP 法に基づく地すべり地形活動度との関係
北海道立総合研究機構・北海道大学大学院情報科学院 宇佐見星弥
北海道立総合研究機構 石丸 聡
防災科学技術研究所 佐藤昌人
14. 14:10～14:30 不織布フィルターを設置した斜面における地中体積含水率変化を考慮した降雨浸透流解析
徳山工業高等専門学校機械電気工学科 坪郷浩一
徳山工業高等専門学校土木建築工学科 荒木功平
15. 14:30～14:50 支持力模型装置を用いた飽和度の異なる法面の安定性に関する検討
鹿児島大学学術研究院理工学域工学系 田上聖人・酒匂一成・齋田倫範
16. 14:50～15:10 繰返しリングせん断試験による土の強度定数の算定法と斜面安定性評価
山口大学大学院創成科学研究科 高原 蒼・鈴木素之・軸屋雄太
17. 15:10～15:30 動的載荷リングせん断試験における潜在すべり面を有する粘土の繰返しせん断挙動
山口大学大学院創成科学研究科 佐藤和樹・鈴木素之・高原蒼・軸屋雄太

[15:30～15:40 休 憩]

【セッション4 土石流・数値計算】

座長 八千代エンジニアリング（株） 横尾公博

18. 15:40～16:00 急勾配軽石層が広がるシラス地帯の地形改変と土石流発生の構造
株式会社郷土開発 上野敏孝
19. 16:00～16:20 土石流を受ける支柱型柔構造の部材別荷重特性に関する実験的検討
防衛大学校理工学研究科 宮原昌太
防衛大学校建設環境工学科 堀口俊行
20. 16:20～16:40 三次元点群データを用いた土石流の水位と流速の関係性の分析
国立研究開発法人土木研究所 金澤 瑛・清水武志・梅谷涼太・坂井佑介
21. 16:40～17:00 立木に折損を生じさせる土石流の流動深の評価に関する実験的研究
群馬工業高等専門学校専攻科 伊藤 涼
群馬工業高等専門学校環境都市工学科 永野博之
22. 17:00～17:20 土石流荷重作用下におけるブロック堰堤の抵抗躯体と構造安定性に関する実験的検討
防衛大学校理工学研究科 齋藤和樹
防衛大学校建設環境工学科 堀口俊行
23. 17:20～17:40 雨量指標 R' を用いた火山噴出岩地域の土石流発生基準に関する検討
徳島大学環境防災研究センター 蔣 景彩
中部地方整備局 天竜川上流河川事務所 林 美里

徳島大学環境防災研究センター 湯浅恭史

国土防災技術株式会社高知支店 古谷綱崇

24. 17:40～18:00 土石流先頭部に集積した状態で到達する流木群の柵状部捕捉機構に関する実験的研究

鳥取大学工学部 和田孝志

株式会社エイト日本技術開発 山崎一輝

鳥取大学工学部 三輪 浩

8月28日（金）

【セッション5 土砂生産・土砂流出】 座長 （一財）電力中央研究所 小林大祐

25. 8:30～8:50 山地流域における面的な土砂生産モデルの開発

いであ株式会社大阪支社 笠井賢治

国土交通省四国地方整備局那賀川河川事務所 堀江雄太

いであ株式会社大阪支社 山口貴之

いであ株式会社東北支店 越智尊晴

26. 8:50～9:10 針広混交林の林床被覆状態と斜面土砂流出量の定量評価

パシフィックコンサルタンツ（株） 松下晃生

京都大学防災研究所気候変動適応研究センター 桑原正人

パシフィックコンサルタンツ（株） 蔭山 星

徳島大学大学院社会産業理工学研究部 田村隆雄

パシフィックコンサルタンツ（株） 吉武央気

徳島大学大学院創成科学研究科 高野和成

パシフィックコンサルタンツ（株）大木正美・森川裕基・永島悠平・野村七重・清原正道・堂ノ脇将光

27. 9:10～9:30 土砂生産・土砂供給過程を考慮した斜面崩壊に基づく河道供給土砂量の算定

徳島大学大学院創成科学研究科 大寺礼子

徳島大学大学院社会産業理工学研究部 武藤裕則・西山賢一

[9:30～9:40 休 憩]

【セッション6 土砂災害対策，構造物および機能】 座長 （株）建設技術研究所 吉村 真

28. 9:40～10:00 河川堤防の越流破壊に有効な矢板補強に関する実験的研究

九州大学大学院工学府 奥本祥広

九州大学大学院工学研究院 笠間清伸・李 洋

九州大学大学院工学部技術部 八尋裕一

29. 10:00～10:20 INFLUENCE OF SATURATION CONDITION AND GRAIN-SIZE DISTRIBUTION ON EMBANKMENT
EROSION DURING REPEATED OVERTOPPING

Tokushima University Durjoy ARZU, Yasunori MUTO and MD Anwar HOSSAIN

30. 10:20～10:40 CFD-DEM 連成解析による Suffusion の数値シミュレーション

九州大学大学院・National Taiwan University 家守乙葉

九州大学大学院工学研究院 笠間清伸・李 洋

九州大学 八尋裕一

National Taiwan University Louis GE

31. 10:40～11:00 流木群衝突時に作用する荷重特性と見かけの抗力係数の評価

防衛大学校理工学研究科 竜川太志

防衛大学校建設環境工学科 堀口俊行

32. 11:00～11:20 落雷を原因とした砂防施設の損傷事例の紹介

国土交通省関東地方整備局日光砂防事務所 木下篤彦

大日本ダイヤコンサルタント株式会社 高濱洋介・阿部征輝・諏訪園胡楠・佐々木達生・永野賢司

国土交通省関東地方整備局日光砂防事務所 廣井幸治・秋元 裕

【基調講演】

11:20～12:00 河道閉塞、火山噴火等の大規模土砂災害時の緊急対策の強化の取り組み

国土交通省砂防部砂防計画課 伊藤誠記

[12:00～13:00 昼 食]

【セッション7 監視、観測および計測技術】 座長 (国研) 土木研究所 寒地土木研究所 阿部孝章

33. 13:00～13:20 火山噴火緊急時の現地状況把握に向けた四足歩行ロボットの走行試験

株式会社オリエンタルコンサルタンツ 矢渡 岳・植 弘隆・平川泰之・有間 航・光永海斗

国土交通省九州地方整備局九州防災・火山技術センター 矢野敦久・中村良一・中水流晃・井上 遥

34. 13:20～13:40 桜島大噴火時の複合災害の発生リスク推定に向けた降下火砕物の堆積分布に関する基礎的研究

鹿児島大学大学院理工学研究科 五反田尚大

鹿児島大学学術研究院理工学域工学系 酒匂一成・田上聖人

35. 13:40～14:00 特異値分解を用いた落石の到達確率に関する空間モード分析

九州大学大学院工学府土木工学専攻 川原咲南

九州大学大学院 笠間清伸・李 洋・八尋裕一

九州大学大学院工学府学術研究院 荘 恵民

36. 14:00～14:20 ミニディスクインフィルトロメータによる現場透水係数の計測精度に関する研究

鹿児島大学理工学研究科 植田 諒

元鹿児島大学理工学研究科 ジャクソン コン ゼー シェン

鹿児島大学理工学研究科 蓮井瑠之

鹿児島大学学術研究院 酒匂一成

立命館大学理工学部 伊藤真一

37. 14:20～14:40 ALOS-2 時系列干渉 SAR の 2.5 次元解析を用いた山地斜面の変動候補箇所の抽出
九州大学大学院工学府土木工学専攻 服巻智典
九州大学大学院工学研究院附属アジア防災研究センター 三谷泰浩・本田博之
九州大学大学院工学府土木工学専攻 彌富涼子
38. 14:40～15:00 播種工の施工初期における草本植生の成長と飽和透水係数に関する一考察
福岡大学工学部 昌本拓也
元福岡大学工学部 吉田大斗
福岡大学工学部 村上 哲
39. 15:00～15:20 小型宇宙線ミュオン検出器を用いた斜面崩壊現場でのミュオン測定
山梨大学工学部 後藤 聡
元山梨大学大学院 小幡隼士
元山梨大学工学部 木本懂子・後藤瑞季
元日本アイ・ビー・エム（株） 後藤 禎

[15:20～15:30 休 憩]

【セッション 8 警戒避難，危険度評価】

座長 復建調査設計（株） 中井真司

40. 15:30～15:50 災害対応時の土砂崩壊箇所判読を支援する深層学習ツールの開発
国土交通省国土地理院 白石喬久
大正大学情報科学部 中埜貴元
国土交通省国土地理院 牧野奈那
41. 15:50～16:10 地震による地すべりに対する事前対策のリスク低減効果の表し方と便益計算例
日本工営株式会社中央研究所技術開発センター 倉岡千郎・中島祐一
日本工営株式会社国土基盤整備事業本部 藤元 亮
42. 16:10～16:30 広域二次元の土砂移動の危険度評価による避難所の孤立発生可能性の検証
防災科学技術研究所 筒井和男
和歌山県土砂災害啓発センター 峽山 雄亮・嶋田圭悟
43. 16:30～16:50 階層ベイズモデルを用いた土砂災害発生数予測モデルの検討
九州大学大学院工学府 三好夢珠
九州大学大学院工学研究院 笠間清伸・李 洋・荘 惠民
44. 16:50～17:10 蒸発効率の算定結果に対する植生の存在の影響に関する一考察
福岡大学大学院工学研究科 青木壮真
福岡大学工学部 昌本拓也・村上 哲
山口大学大学院 軸屋雄太
45. 17:10～17:30 粒子径に着目したバルク法における蒸発効率の土中水分依存性モデルに関する検討
山口大学大学院創成科学研究科 山田結斗・軸屋雄太・鈴木素之

17:30～17:40 閉会挨拶 「第 13 回土砂災害に関するシンポジウム」副実行委員長 原田紹臣